

第2章

一・二・三・四類感染症及び全数把握対象の五類感染症報告状況

1. 一類感染症

一類感染症の報告はありませんでした。

2. 二類感染症

急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、鳥インフルエンザ(H5N1)

報告はありませんでした。

結核 (Tuberculosis)

結核は、2007年4月1日から感染症法の二類対象疾患となり、ここでのデータは、横浜市健康福祉局健康安全課で作成した平成26(2014)年結核発生動向調査年報から引用しています。

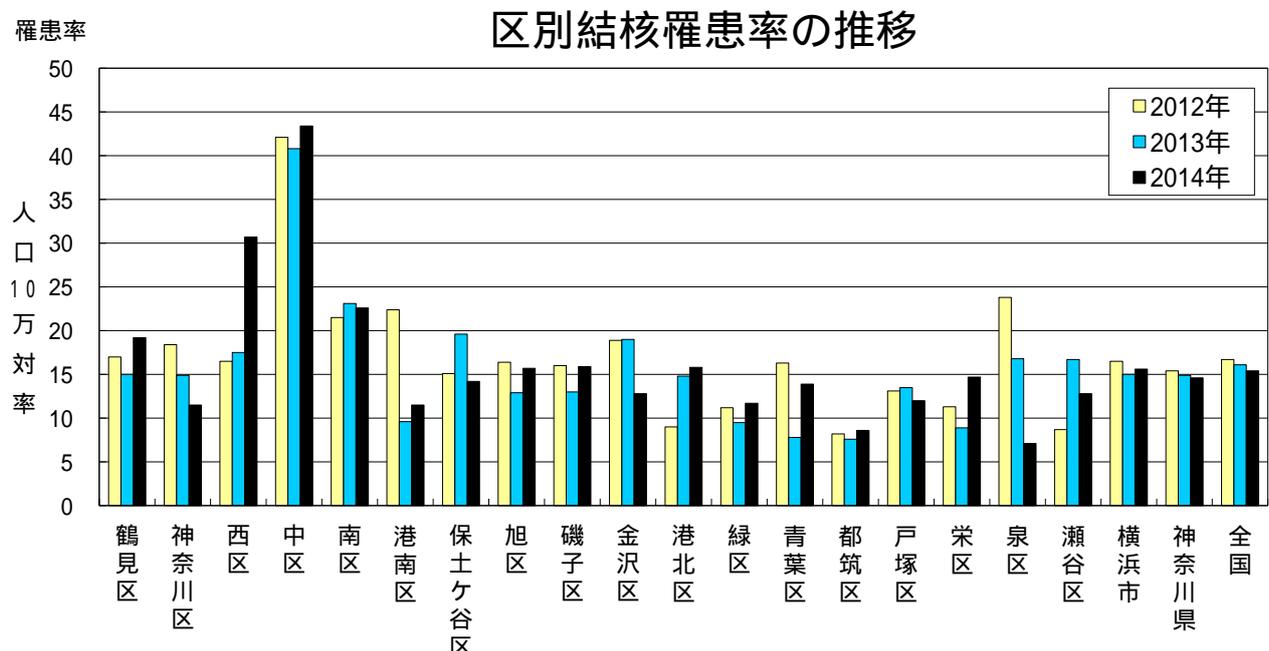
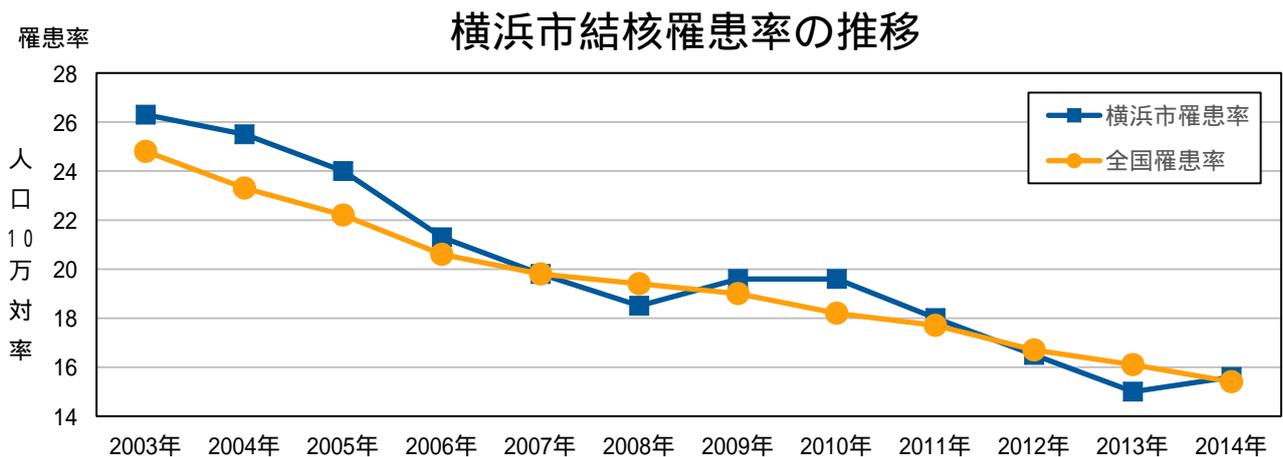
年間患者報告数は578人、罹患率は15.6で、昨年よりやや増加しました(対前年比0.6増)。この数値は、全国の罹患率 15.4(対前年比0.7減)を若干上回っています。

男女別では、男性が384人(66.4%)、女性が194人(33.6%)で、男性の報告数は女性のほぼ倍でした。

また、年齢層別では男女とも高齢者の報告が多く、65歳以上の患者は男性が226人(39.1%)、女性が115人(19.9%)で合計341人となり、全体の59.0%を占めています。

行政区別の罹患率 をみると、中区が43.4と最も多く、次いで西区が30.7、南区が22.6、鶴見区が19.2の順でした。

人口10万対



3. 三類感染症

細菌性赤痢 (Shigellosis)

男性3例の報告がありました。菌型は*Shigella sonnei*が2例、*Shigella flexneri*が1例でした。年齢層別では20歳代・30歳代・60歳代が各1例でした。推定感染地域は日本国内が1例、海外が2例で、海外地域の詳細はインドおよびエジプトが各1例でした。

腸チフス (Typhoid fever)

40歳代男性1例の報告がありました。推定感染地域はミャンマーでした。

腸管出血性大腸菌感染症 (Enterohemorrhagic *Escherichia coli* infection)

117例の報告があり、患者(症状あり)が100例(85.5%)、無症状病原体保有者が17例(14.5%)でした。

菌型はO157が最も多く89例(76.1%)で、次いでO26が10例(8.5%)、以下O111・O121・O145が各4例(3.4%)、O103とO146が各2例(1.7%)、O74とO112が各1例(0.9%)でした。

月別では、8月が31例(26.5%)、6月が24例(20.5%)、7月が22例(18.8%)、9月が16例(13.7%)で、この4か月で全体の79.5%を占めています。

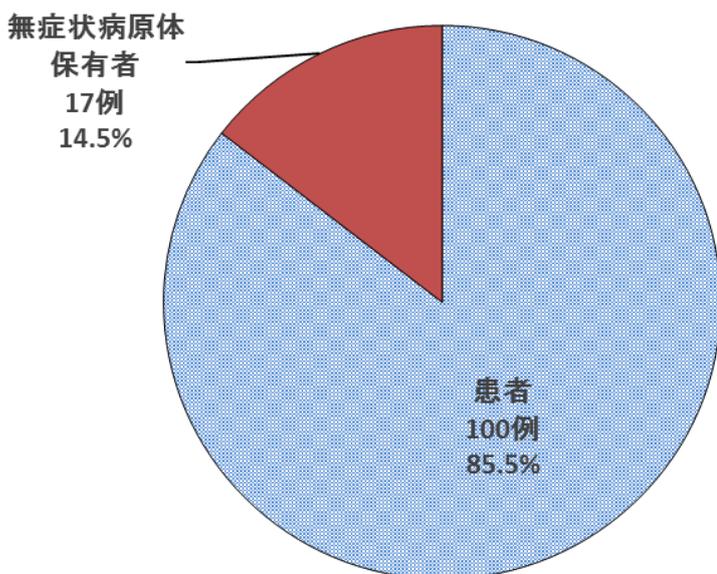
男女別では、男性が52例(44.4%)、女性が65例(55.6%)でした。

年齢層別では、10歳代が26例(22.2%)と最も多く、次いで10歳未満が25例(21.4%)の順となっています。

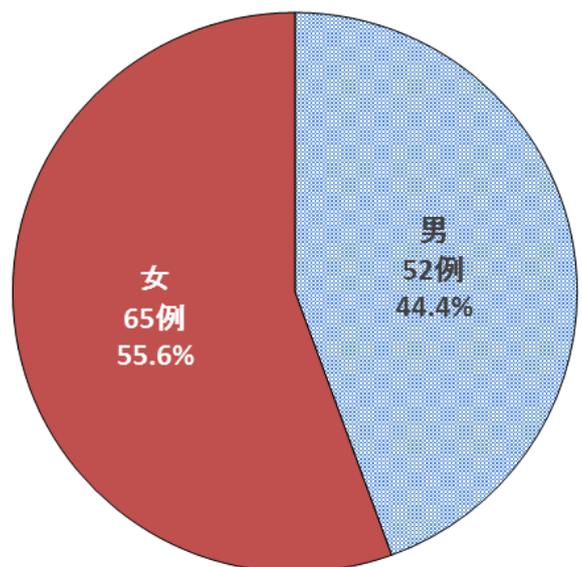
推定感染地域は、日本国内が93例(79.5%)、インド・フランスおよびモロッコが各1例(0.9%)、残りの21例(17.9%)は不明でした。また、国内発生93例のうち、神奈川県内は50例(42.7%)でした。

男性2例、女性1例が溶血性尿毒症症候群(HUS)を発症しており、菌型はいずれもO157でした。年齢層は10歳未満・40歳代および50歳代が各1例でした。

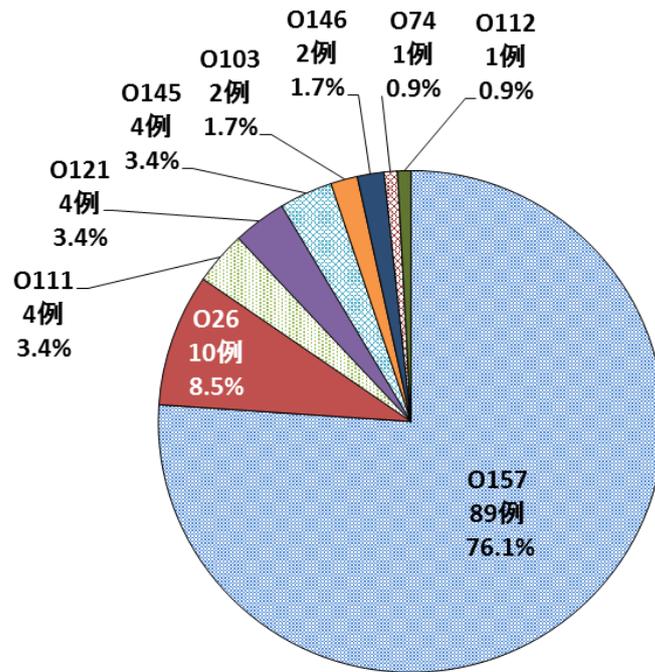
症状別報告割合(2014年)



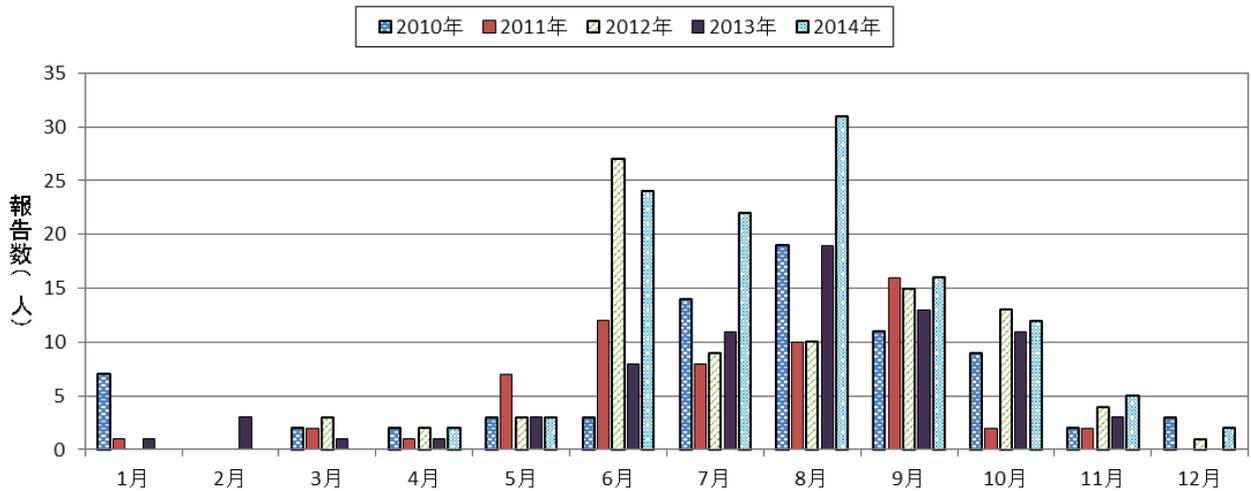
男女別報告割合(2014年)



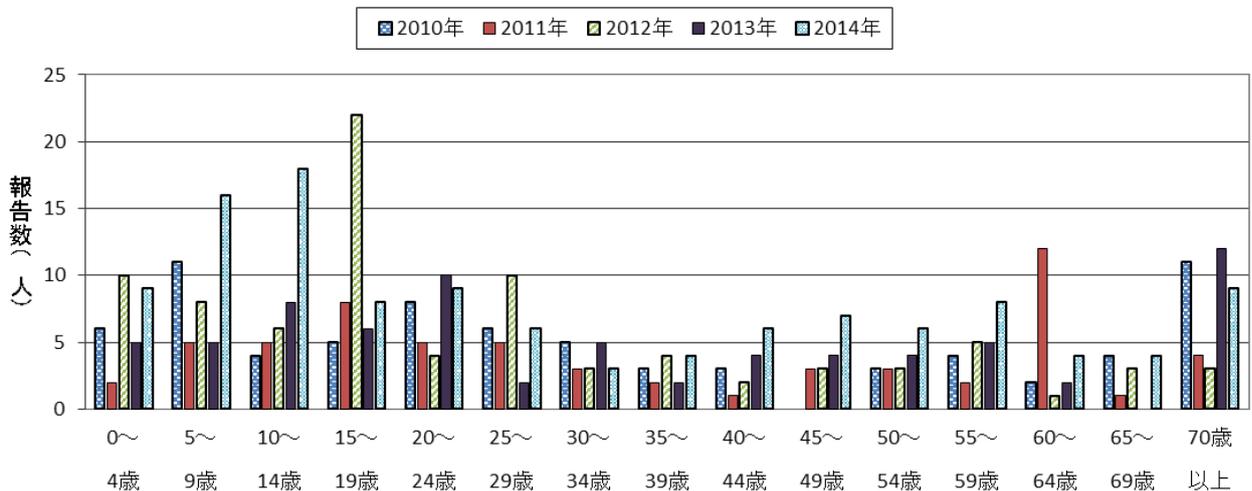
菌型別報告割合(2014年)



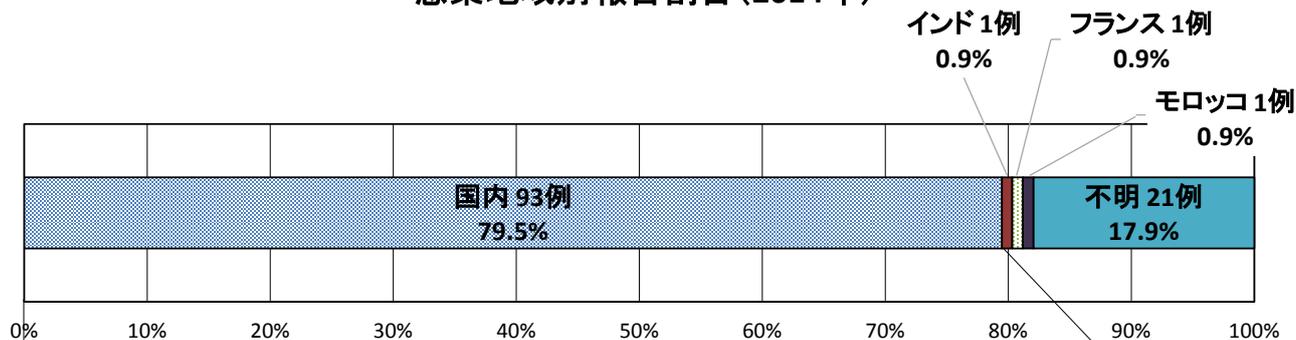
過去5年間の腸管出血性大腸菌感染症月別報告数



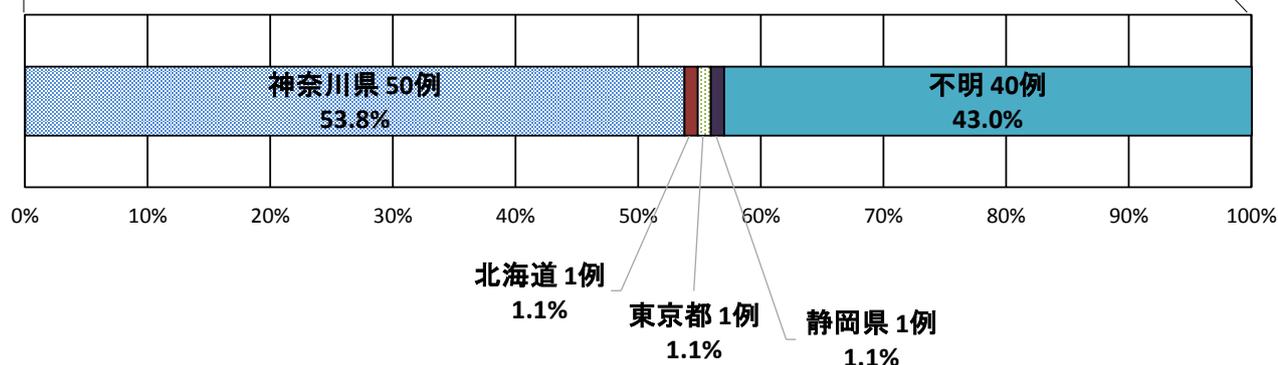
過去5年間の腸管出血性大腸菌感染症年齢層別報告数



感染地域別報告割合(2014年)



感染地域別報告割合・国内(2014年)



4. 四類感染症

E型肝炎 (Hepatitis E)

男性2例の報告がありました。年齢層別では50歳代と70歳代が各1例でした。推定感染地域はいずれも日本国内でした。

A型肝炎 (Hepatitis A)

8例の報告がありました。男女別では男性が5例、女性が3例で、年齢層別では50歳代が3例、40歳代が2例、10歳代・30歳代・60歳代が各1例でした。推定感染地域はいずれも日本国内でした。

エキノコックス症 (Echinococcosis)

30歳代男性の報告が1例ありました。推定感染地域は日本国内(北海道)でした。

デング熱 (Dengue fever)

20例の報告があり、病型はいずれもデング熱でした。男女別では男性が11例(55.0%)、女性が9例(45.0%)で、年齢層別では20歳代が8例(40.0%)、30歳代が5例(25.0%)、10歳代が4例(20.0%)、40歳代が3例(15.0%)でした。推定感染地域は日本国内が8例(40.0%)、タイが5例(25.0%)、フィリピンが3例(15.0%)、ベトナムおよびマレーシアが各2例(10.0%)、インドネシアおよびシンガポールが各1例(5.0%)でした(重複あり)。なお、2014年は70年ぶりにデング熱の国内発生がみられた年で、日本国内で感染したとされる8例は、いずれも海外渡航歴はありませんでした。

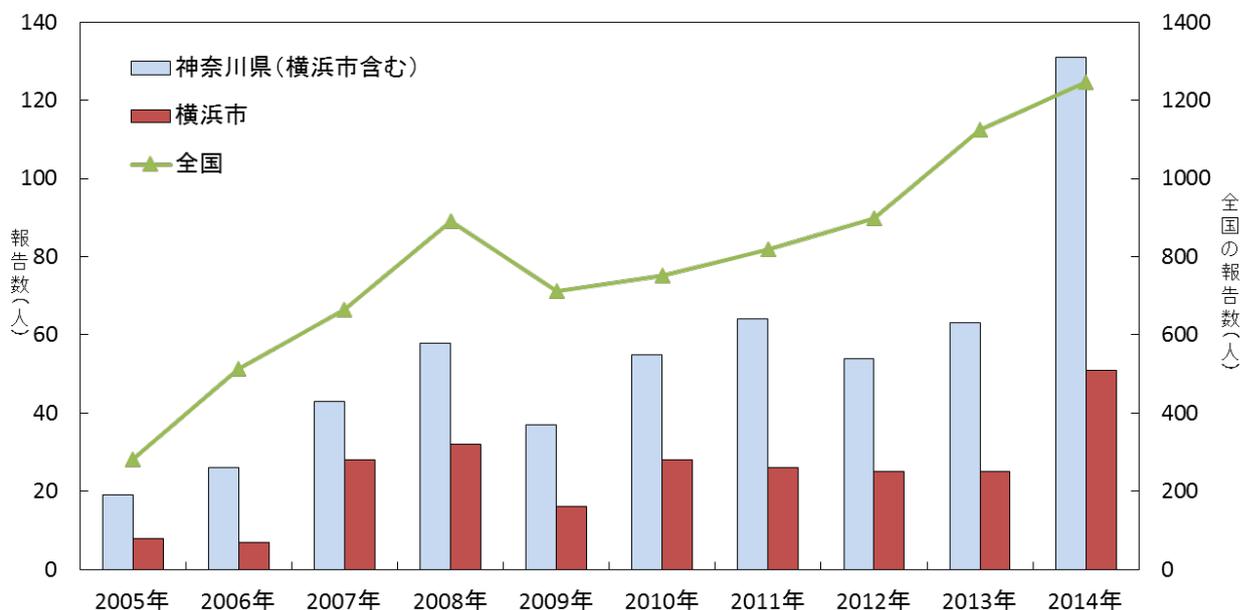
マラリア (Malaria)

男性4例の報告があり、病型は熱帯熱マラリアが2例、三日熱マラリアおよび卵形マラリアが各1例でした。推定感染地域はインド・カメルーン・ガーナおよびコスタリカまたはコートジボアールが各1例でした。

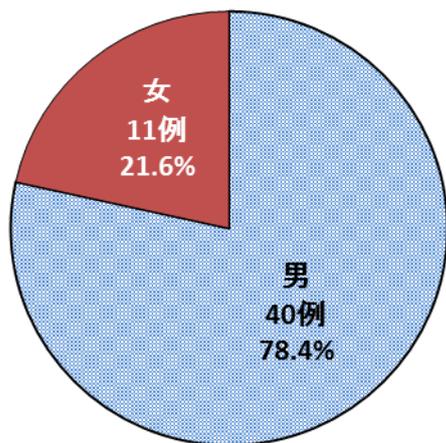
レジオネラ症 (Legionellosis)

51例の報告があり、病型は47例(92.2%)が肺炎型、4例(7.8%)がポンティアック熱型でした。男女別では、男性が40例(78.4%)、女性が11例(21.6%)でした。年齢層別では、60歳代が13例(25.5%)、80歳代が12例(23.5%)、50歳代が9例(17.6%)、70歳代が8例(15.7%)、90歳代が5例(9.8%)、40歳代が2例(3.9%)、20歳代と30歳代が各1例(2.0%)でした。推定感染地域は日本国内が50例(98.0%)、ブラジルが1例(2.0%)でした。

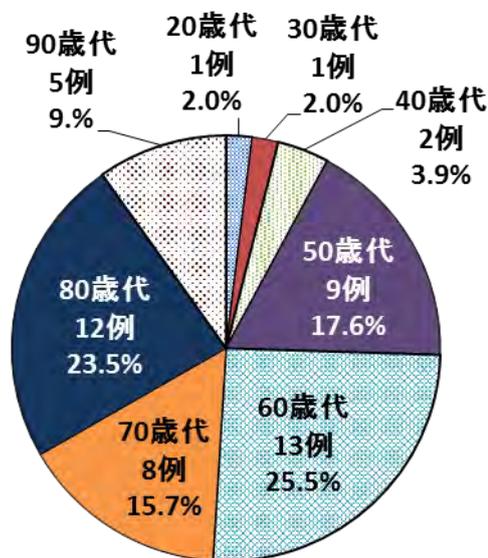
レジオネラ症報告数の年別推移



男女別報告割合(2014年)



年齢層別報告割合(2014年)



レプトスピラ症 (Leptospirosis)

男女各1例の報告がありました。年齢層別では10歳代と60歳代が各1例でした。推定感染地域は日本国内が1例、インドネシアが1例でした。

5. 五類感染症(全数把握対象)

アメーバ赤痢 (Amoebiasis)

66例の報告があり、病型は腸管アメーバ症が56例(84.8%)、腸管外アメーバ症が7例(10.6%)、腸管および腸管外アメーバ症が3例(4.5%)でした。男女別では、男性が61例(92.4%)、女性が5例(7.6%)、年齢層別では50歳代が24例(36.4%)、40歳代が20例(30.3%)、60歳代が10例(15.2%)、30歳代が7例(10.6%)、70歳代が3例(4.5%)、20歳代が2例(3.0%)でした。推定感染地域は日本国内50例(75.8%)、タイが2例(3.0%)、アメリカ(ハワイ)・中国・ベトナム・マレーシアが各1例(1.5%)、不明(国内か海外かも不明)が11例(16.7%)でした(推定感染地域は重複あり)。

ウイルス性肝炎 (Viral hepatitis)

20歳代の男女各1例の報告がありました。いずれも病型はB型で、推定感染地域は日本国内でした。

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 (Carbapenem-resistant Enterobacteriaceae Infection)

13例の報告があり、男女別では男性8例、女性5例でした。年齢層別では80歳代が5例、70歳代が4例、90歳代が3例、10歳代が1例でした。推定感染地域は全例日本国内でした。

急性脳炎 (Acute encephalitis)

21例の報告があり、男女別では男性11例、女性10例でした。年齢層別では、10歳未満が17例、40歳代が3例、10歳代が1例でした。病原体は、インフルエンザウイルスAが6例(うちA(H1N1)pdm09/AH1 pdm09が2例)、単純ヘルペスウイルスおよびムンプスウイルスが各1例、病原体不明が13例でした。

クロイツフェルトヤコブ病 (Creutzfeldt-Jakob Disease: CJD)

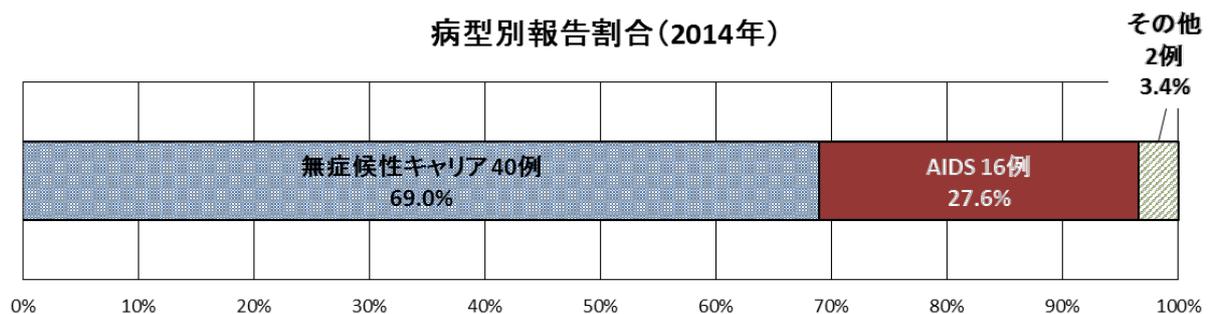
7例の報告があり、男女別では男性4例、女性3例でした。年齢層別では、70歳代が4例、50歳代・60歳代・80歳代が各1例でした。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 (Sever invasive Streptococcal infection)

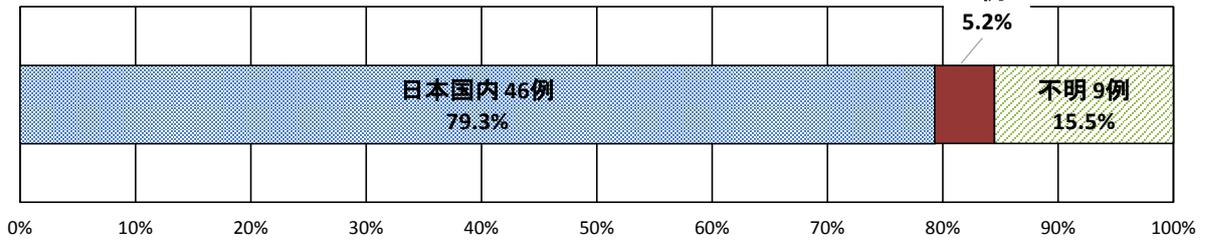
14例の報告があり、男女別では男性6例、女性8例でした。年齢層別では、60歳代が4例、30歳代が3例、70歳代・80歳代・90歳代が各2例、40歳代が1例でした。

後天性免疫不全症候群 (Acquired Immunodeficiency Syndrome: AIDS)

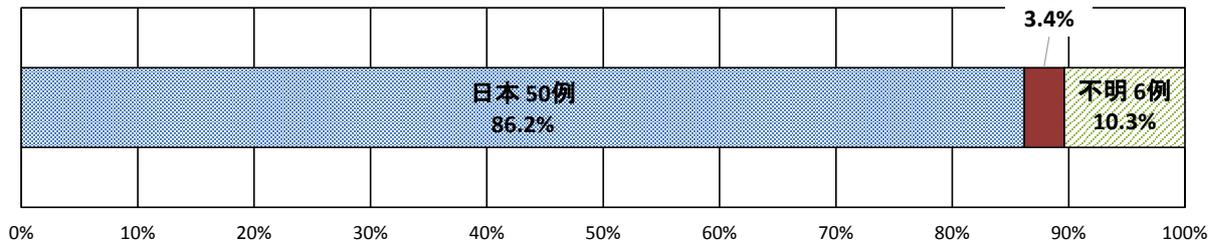
58例の報告があり、男女別では男性57例、女性1例でした。病型は無症候性キャリアが40例(69.0%)、AIDSが16例(27.6%)、その他が2例(3.4%)でした。国籍は日本が50例(86.2%)、その他が2例(3.4%)、不明が6例(10.3%)でした。年齢層別では30歳代が19例(32.8%)、40歳代が14例(24.1%)、50歳代が11例(19.0%)、20歳代が8例(13.8%)、60歳代が4例(6.9%)、10歳代が2例(3.4%)でした。推定感染地域は日本国内が46例(79.3%)、タイ・ベトナム・日本またはアメリカが各1例(1.7%)、不明が9例(15.5%)でした。



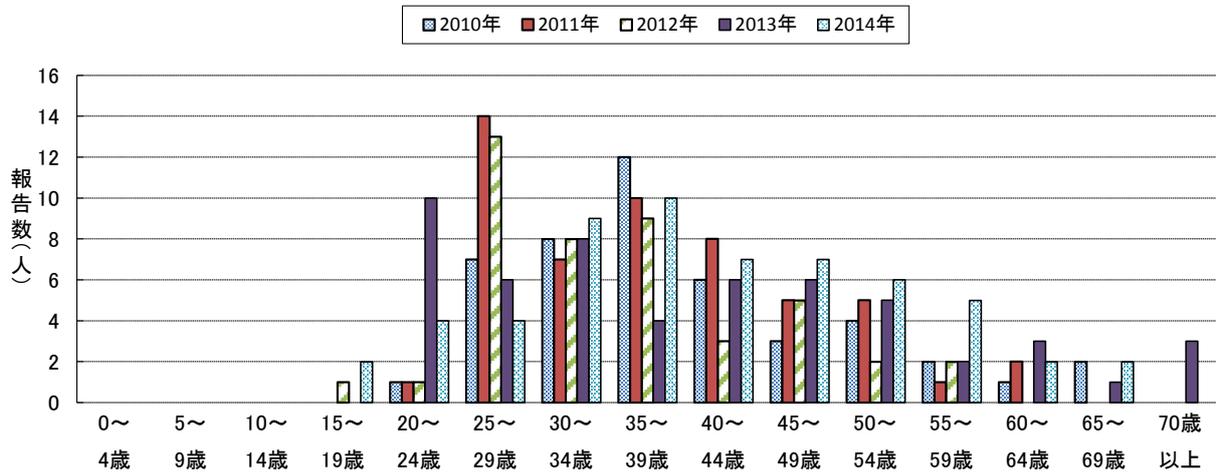
感染地域別報告割合(2014年)



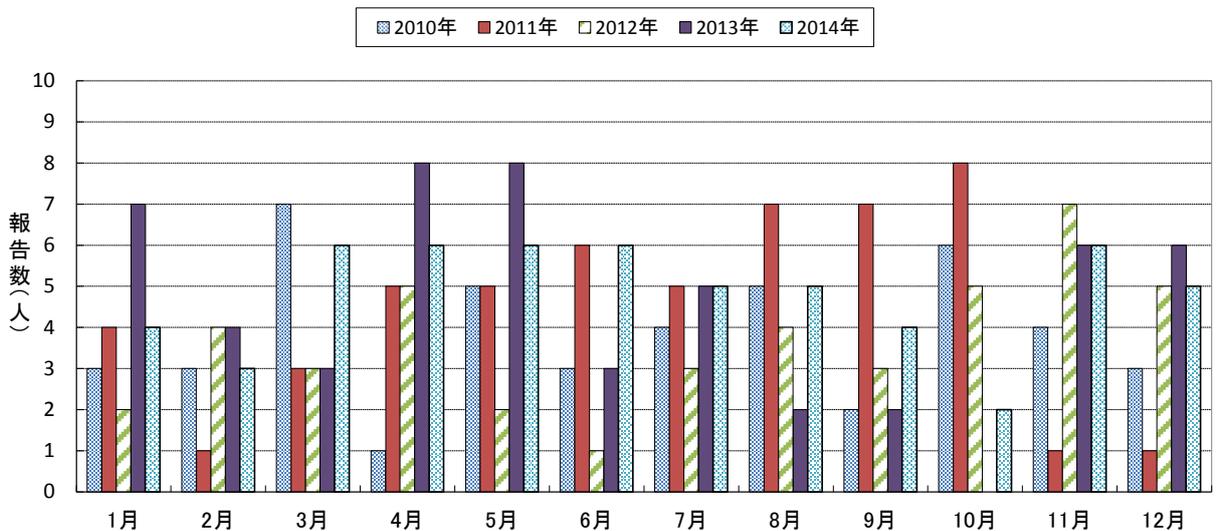
国籍別報告割合(2014年)



過去5年間の後天性免疫不全症候群 年齢層別報告数



過去5年間の後天性免疫不全症候群 月別報告数



ジアルジア症 (Giardia disease)

30歳代男性の報告が1例ありました。推定感染地域はインドでした。

侵襲性インフルエンザ菌感染症 (Invasive *Haemophilus Influenzae* Infection)

9例の報告があり、男性が7例、女性が2例でした。年齢層別では、90歳代が3例、60歳代が2例、10歳未満・50歳代・70歳代および80歳代が各1例でした。推定感染地域は日本国内5例、不明4例で、ワクチン接種歴は有1例(10歳未満症例)、無2例、不明6例でした。

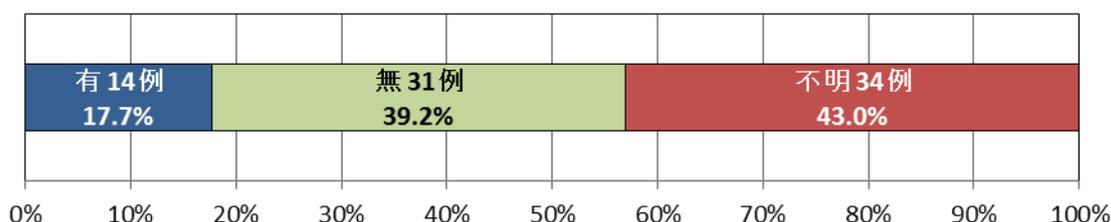
侵襲性髄膜炎菌感染症 (Invasive Meningococcal Infection)

70歳代女性の報告が1例ありました。推定感染地域は日本国内でした。

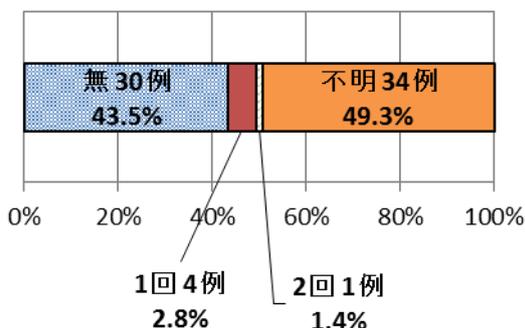
侵襲性肺炎球菌感染症 (Invasive Pneumococcal Infection)

79例の報告があり、男性が54例(68.4%)、女性が25例(31.6%)でした。年齢層別では70歳代が21例(26.6%)と最も多く、次いで80歳代が19例(24.1%)、10歳未満が10例(12.7%)となっています。推定感染地域は日本国内68例(86.1%)、不明11例(13.9%)でした。ワクチン接種歴は有14例(17.7%)、無31例(39.2%)、不明34例(43.0%)でした。

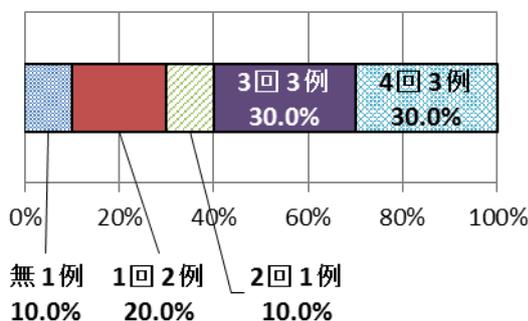
侵襲性肺炎球菌感染症79例のワクチン接種の有無



成人のワクチン接種回数内訳



小児のワクチン接種回数内訳



水痘(入院例に限る) (Varicella< Chickenpox >)

3例の報告があり、男性が1例、女性が2例でした。年齢層別では、10歳未満・70歳代・90歳代が各1例でした。推定感染地域はいずれも日本国内で、ワクチン接種歴は無1例、不明2例でした。

梅毒 (Syphilis)

37例の報告があり、病型は無症状病原体保有者が16例(43.2%)、早期顕症梅毒 I 期が12例(32.4%)、早期顕症梅毒 II 期が8例(21.6%)、晩期顕症梅毒が1例(2.7%)でした。男女別では男性が27例(73.0%)、女性が10例(27.0%)でした。年齢層別では、20歳代が14例(37.8%)、30歳代が11例(30.0%)、50歳代が6例(16.2%)、40歳代が4例(10.8%)、10歳代および60歳代が各1例(2.7%)でした。推定感染地域は日本国内が30例(81.1%)、不明が7例(18.9%)でした。

破傷風 (Tetanus)

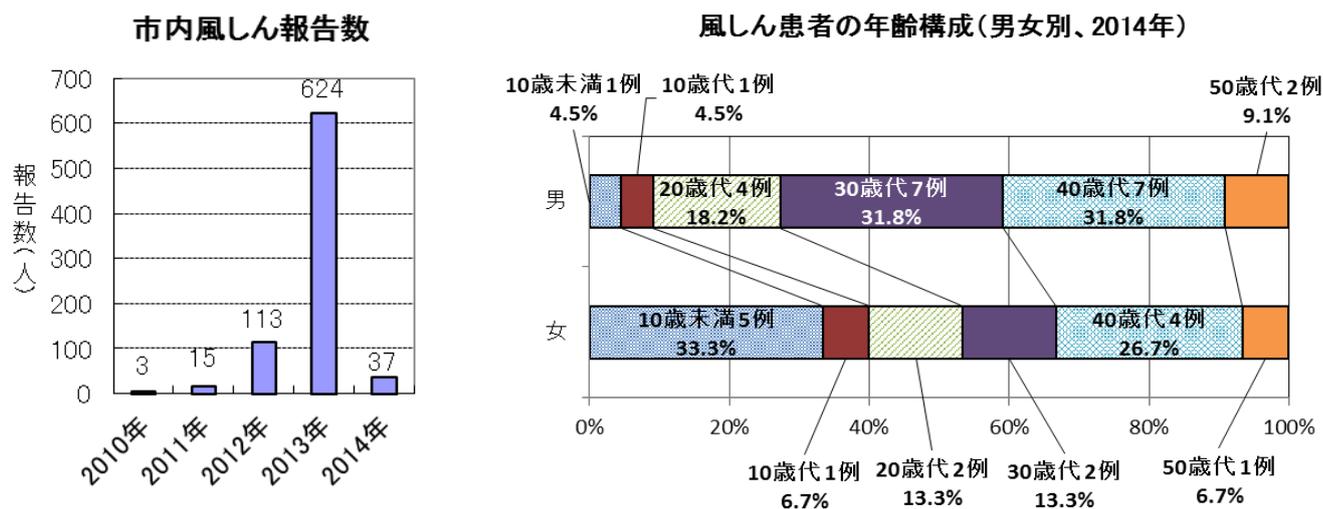
女性2例の報告がありました。年齢層別では、70歳代および90歳代が各1例でした。推定感染地域はいず

れも日本国内でした。

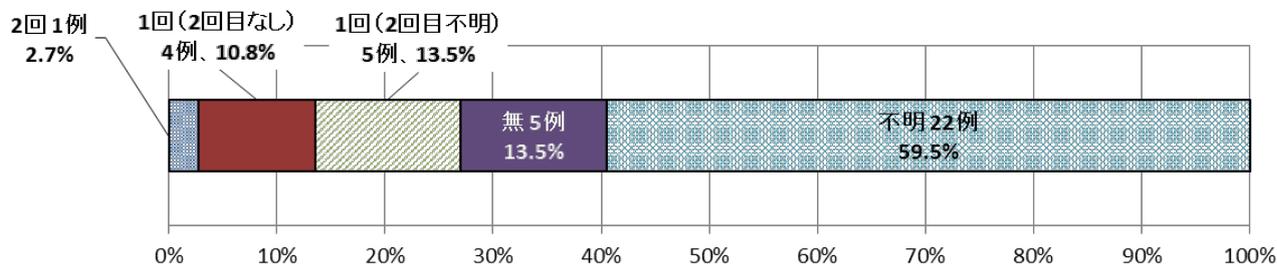
風しん (Rubella)

37例の報告がありました。男女別では、男性22例(59.5%)、女性15例(40.5%)でした。年齢層別では、40歳代が11例(29.7%)、30歳代が9例(24.3%)、10歳未満および20歳代が各6例(16.2%)、50歳代が3例(8.1%)、10歳代が2例(5.4%)でした。2013年と比較し、報告数は大幅に減少していますが、20～40歳代男性は18例(48.6%)とほぼ半数を占めており、前年と同様の傾向でした。

風しん含有ワクチン接種歴は、1回目接種有が10例(27.0%)、接種無が5例(13.5%)、不明が22例(59.5%)でした。1回目を接種している10例中、2回目の接種は、有1例(2.7%)、無4例(10.8%)、不明5例(13.5%)でした。



風しん37例のワクチン接種回数(2014年)



麻疹 (Measles)

11例の報告があり、男性7例、女性4例でした。年齢層別では10歳未満および30歳代が各4例、10歳代が2例、20歳代が1例でした。推定感染地域は日本国内が7例、フィリピンが3例、ベトナムが1例で、遺伝子型はB3とD8が各5例、D9が1例でした。麻疹含有ワクチン接種歴は、1回有が2例、無5例、不明が4例でした。

薬剤耐性アシネトバクター感染症 (Multiple Drug-Resistant *Acinetobacter* Infection:MDRA)

70歳代男性1例の報告がありました。推定感染地域は日本国内でした。

年別患者報告数(全数把握対象の感染症)

分類	疾病名	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	-	-
	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	-	-
	痘そう	-	-	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	-	-
	ペスト	-	-	-	-	-
	マールブルグ病	-	-	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	-	-
	結核	722	663	611	554	578
	ジフテリア	-	-	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群(SARS)	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-	-	-
三類	コレラ	-	2	2	-	-
	細菌性赤痢	9	12	6	7	3
	腸管出血性大腸菌感染症	75	61	87	74	117
	腸チフス	3	-	3	5	1
	パラチフス	2	2	1	2	-
四類	E型肝炎	-	-	1	4	2
	ウエストナイル熱	-	-	-	-	-
	A型肝炎	9	6	8	4	8
	エキノコックス症	-	-	-	-	1
	黄熱	-	-	-	-	-
	オウム病	-	1	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	-	-
	回帰熱	-	-	-	-	-
	キャサヌル森林病	-	-	-	-	-
	Q熱	-	-	-	-	-
	狂犬病	-	-	-	-	-
	コクシジオイデス症	-	-	-	-	-
	サル痘	-	-	-	-	-
	重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)(2)	-	-	-	-	-
	腎症候性出血熱	-	-	-	-	-
	西部ウマ脳炎	-	-	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	-	-
	炭疽	-	-	-	-	-
	チクングニア熱(1)	-	2	1	-	-
	つつが虫病	-	2	-	2	-
	デング熱	6	3	11	11	20
	東部ウマ脳炎	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H5N1を除く)	-	-	-	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-	-	-	-
	日本紅斑熱	-	-	-	-	-
	日本脳炎	-	-	-	-	-
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	-	-
	Bウイルス病	-	-	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	-	-
	ブルセラ症	-	-	-	1	-
	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	-	-
	発しんチフス	-	-	-	-	-
ボツリヌス症	-	-	-	-	-	
マラリア	3	7	7	1	4	
野兔病	-	-	-	-	-	
ライム病	-	-	-	-	-	
リッサウイルス感染症	-	-	-	-	-	

分類	疾病名	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
四類	リフトバレー熱	-	-	-	-	-
	類鼻疽	-	-	-	-	-
	レジオネラ症	28	26	25	25	51
	レプトスピラ症	-	-	3	2	2
	ロッキー山紅斑熱	-	-	-	-	-
五類 (全数把握)	アメーバ赤痢	37	53	40	42	66
	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	2	3	1	2	2
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(5)					13
	急性脳炎	8	7	8	5	21
	クリプトスポリジウム症	-	-	-	-	-
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3	3	3	6	7
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9	3	2	3	14
	後天性免疫不全症候群	46	53	44	54	58
	ジアルジア症	6	2	3	2	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症(3)				4	9
	侵襲性髄膜炎菌感染症(4)	1	-	1	-	1
	侵襲性肺炎球菌感染症(3)				39	79
	水痘(入院例に限る)(6)					3
	先天性風しん症候群	-	-	-	2	-
	梅毒	13	9	15	31	37
	播種性クリプトコックス症(5)					-
	破傷風	1	1	4	3	2
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	-	-
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	9	12	4	2	-
	風しん	3	15	113	624	37
麻しん	32	12	4	2	11	
薬剤耐性アシネトバクター感染症(6)					1	

(- : 0件)

- (1) 2011年2月1日より追加
- (2) 2013年3月4日より追加
- (3) 2013年4月1日より追加
- (4) 2013年4月1日、髄膜炎菌性髄膜炎より変更
- (5) 2014年9月19日より追加
- (6) 2014年9月19日、5類定点疾患より変更

2014年に報告された全数把握対象の感染症 区別内訳(男女)

		鶴見	神奈川	西	中	南	港南	保土ヶ谷	旭	磯子	金沢	港北	緑	青葉	都筑	戸塚	栄	泉	瀬谷	計
二類	結核	54	27	30	64	44	25	29	39	26	26	54	21	43	18	33	18	11	16	578
三類	細菌性赤痢							2								1				3
	腸管出血性大腸菌感染症	6	3	2	8		16	9	9		5	9	4	13	9	15	1	4	4	117
	腸チフス							1												1
四類	E型肝炎			1												1				2
	A型肝炎	1		2				1	1					3						8
	エキノкокクス症					1														1
	デング熱							13			1	1		3	1	1				20
	マラリア							4												4
	レジオネラ症	3	1	2	7	4		1	12		1	4		1	2	10	3			51
	レプトスピラ症							2												2
五類	アメーバ赤痢	1	2	26	3	1	5	3	5		1	5		1	5	3	1	3	1	66
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)								1					1						2
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症			2		2			1				2	5		1				13
	急性脳炎	2				11	1		2	1	1	1			1	1				21
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1		1				1	1			2		1						7
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症				1		2		3				2	5			1			14
	後天性免疫不全症候群	1	4	2	15	7	1	17	1	1	6		1	2						58
	ジアルジア症							1												1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症			1							3	2	1	1		1				9
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1																		1
	侵襲性肺炎球菌感染症	3		3	12	3	6	4	4		19	2	1	8	3	11				79
	水痘(入院例に限る)							1	1				1							3
	梅毒		4	1	9	2	2	8		1	1	2	1	4		1	1			37
	破傷風																2			2
	風しん	4	5	2	4	3	3	2	2	1	3	1	1	1	1	2	1		1	37
麻しん	1			3		2		1			1	2						1	11	
薬剤耐性アシネトバクター感染症											1								1	
計		78	46	75	126	78	63	99	82	31	68	84	37	92	40	83	26	19	22	1,149

2014年に報告された全数把握対象の感染症 区別内訳(男)

		鶴見	神奈川	西	中	南	港南	保土ヶ谷	旭	磯子	金沢	港北	緑	青葉	都筑	戸塚	栄	泉	瀬谷	計
二類	結核	32	15	21	48	28	21	21	27	14	19	34	15	28	11	17	11	10	12	384
三類	細菌性赤痢							2								1				3
	腸管出血性大腸菌感染症	3	1	2	6		7	5	2		3	6	1	6	3	4		1	2	52
	腸チフス							1												1
四類	E型肝炎			1												1				2
	A型肝炎	1		2										2						5
	エキノкокクス症					1														1
	デング熱							8				1		1		1				11
	マラリア							4												4
	レジオネラ症	3	1	1	5	2		1	8		1	4		1	1	9	3			40
	レプトスピラ症							1												1
五類	アメーバ赤痢	1	2	24	2	1	5	3	5		1	5		1	3	3	1	3	1	61
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)													1						1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症			1		2			1				1	3						8
	急性脳炎	2				3	1		1	1	1	1				1				11
	クロイツフェルト・ヤコブ病							1	1			1		1						4
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症				1		1		1					3						6
	後天性免疫不全症候群	1	4	2	15	7	1	16	1	1	6		1	2						57
	ジアルジア症							1												1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症			1							3	1		1		1				7
	侵襲性髄膜炎菌感染症																			0
	侵襲性肺炎球菌感染症	2		1	9	2	3	3	3		15	1	1	4	2	8				54
	水痘(入院例に限る)								1											1
	梅毒		1	1	6	1	2	8		1	1	2		3		1				27
	破傷風																			0
	風しん	2	1	2	2	3	3	1		1	1	1		1	1	2	1			22
麻しん				1		2		1				2						1		7
薬剤耐性アシネトバクター感染症											1								1	
計		47	25	59	95	50	46	76	51	19	52	57	21	58	21	49	16	15	15	772

2014年に報告された全数把握対象の感染症 区別内訳(女)

		鶴見	神奈川	西	中	南	港南	保土ヶ谷	旭	磯子	金沢	港北	緑	青葉	都筑	戸塚	栄	泉	瀬谷	計
二類	結核	22	12	9	16	16	4	8	12	12	7	20	6	15	7	16	7	1	4	194
三類	細菌性赤痢																			0
	腸管出血性大腸菌感染症	3	2		2		9	4	7		2	3	3	7	6	11	1	3	2	65
	腸チフス																			0
四類	E型肝炎																			0
	A型肝炎							1	1					1						3
	エキノコックス症																			0
	デング熱							5			1			2	1					9
	マラリア																			0
	レジオネラ症			1	2	2			4						1	1				11
	レプトスピラ症							1												1
五類	アメーバ赤痢			2	1										2					5
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)								1											1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症			1									1	2		1				5
	急性脳炎					8			1						1					10
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1		1								1								3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症						1		2				2	2			1			8
	後天性免疫不全症候群							1												1
	ジアルジア症																			0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症											1	1							2
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1																		1
	侵襲性肺炎球菌感染症	1		2	3	1	3	1	1		4	1		4	1	3				25
	水痘(入院例に限る)							1					1							2
	梅毒		3		3	1							1	1				1		10
	破傷風															2				2
	風しん	2	4		2			1	2		2		1							1
麻しん	1			2							1									4
薬剤耐性アシネトバクター感染症																				0
	計	31	21	16	31	28	17	23	31	12	16	27	16	34	19	34	10	4	7	377

2014年に報告された全数把握対象の感染症 月別内訳(男女)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
二類	結核	43	46	49	57	50	74	63	40	42	42	36	36	578	
三類	細菌性赤痢	1							1			1		3	
	腸管出血性大腸菌感染症				2	3	24	22	31	16	12	5	2	117	
	腸チフス										1			1	
四類	E型肝炎	1						1						2	
	A型肝炎		3	2	1	1	1							8	
	エキノкокクス症									1				1	
	デング熱	1				1	2	1	5	8	1	1		20	
	マラリア				1				2				1	4	
	レジオネラ症	5	3	1		3	5	7	6	7	7	3	4	51	
	レプトスピラ症	1									1			2	
五類	アメーバ赤痢	3	5	4	7	8	3	9	6	7	3	7	4	66	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	1							1					2	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症									2	2	6	3	13	
	急性脳炎	2		1		1			3	5	2	2	5	21	
	クロイツフェルト・ヤコブ病		3	1	1			1	1					7	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1		1	4				1		1		6	14	
	後天性免疫不全症候群	4	3	6	6	6	6	5	5	4	2	6	5	58	
	ジアルジア症												1	1	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1			2			2	2			1	9	
	侵襲性髄膜炎菌感染症								1					1	
	侵襲性肺炎球菌感染症	18	6	11	5	9	6	4		4	2	4	10	79	
	水痘(入院例に限る)												1	2	3
	梅毒		1	2	6	5	6	3	3	2	4	1	4	37	
	破傷風								2						2
	風しん	7	13	2	5	3	3	1		1	1	1		37	
	麻しん	3	1	1	1	2	2						1	11	
薬剤耐性アシネトバクター感染症												1		1	
計		92	85	81	96	94	132	120	107	101	81	76	84	1,149	

2014年に報告された全数把握対象の感染症 月別内訳(男)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
二類	結核	25	31	34	39	30	53	39	30	31	29	17	26	384	
三類	細菌性赤痢	1							1			1		3	
	腸管出血性大腸菌感染症					2	11	11	13	6	4	3	2	52	
	腸チフス										1			1	
四類	E型肝炎	1						1						2	
	A型肝炎		1	2	1	1								5	
	エキノкокクス症									1				1	
	デング熱	1				1	2		3	4				11	
	マラリア				1				2				1	4	
	レジオネラ症	2	2	1		2	5	5	5	6	6	3	3	40	
	レプトスピラ症	1												1	
五類	アメーバ赤痢	3	5	3	7	8	3	9	6	4	3	6	4	61	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	1												1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症									2	1	4	1	8	
	急性脳炎			1		1			1	1	1	2	4	11	
	クロイツフェルト・ヤコブ病		1	1	1			1						4	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1			2				1				2	6	
	後天性免疫不全症候群	4	3	6	6	6	6	4	5	4	2	6	5	57	
	ジアルジア症												1	1	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1				1			2	2			1	7	
	侵襲性髄膜炎菌感染症													0	
	侵襲性肺炎球菌感染症	8	4	7	5	6	3	3		4	2	3	9	54	
	水痘(入院例に限る)												1	1	
	梅毒			1	6	2	4	3	2	2	2	1	4	27	
	破傷風														0
	風しん	7	7	1	5	1					1			22	
	麻しん	1	1		1	1	2						1	7	
薬剤耐性アシネトバクター感染症												1		1	
計		57	55	57	74	62	89	78	69	67	52	49	63	772	

2014年に報告された全数把握対象の感染症 月別内訳(女)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
二類	結核	18	15	15	18	20	21	24	10	11	13	19	10	194
三類	細菌性赤痢													0
	腸管出血性大腸菌感染症				2	1	13	11	18	10	8	2		65
	腸チフス													0
四類	E型肝炎													0
	A型肝炎		2				1							3
	エキノコックス症													0
	デング熱							1	2	4	1	1		9
	マラリア													0
	レジオネラ症	3	1			1		2	1	1	1		1	11
	レプトスピラ症											1		1
五類	アメーバ赤痢			1						3		1		5
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)								1					1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										1	2	2	5
	急性脳炎	2							2	4	1		1	10
	クロイツフェルト・ヤコブ病		2						1					3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1	2						1		4	8
	後天性免疫不全症候群							1						1
	ジアルジア症													0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症		1				1							2
	侵襲性髄膜炎菌感染症								1					1
	侵襲性肺炎球菌感染症	10	2	4		3	3	1				1	1	25
	水痘(入院例に限る)													2
	梅毒		1	1		3	2		1		2			10
	破傷風								2					2
	風しん		6	1		2	3	1		1		1		15
麻しん	2		1		1								4	
薬剤耐性アシネトバクター感染症													0	
計		35	30	24	22	32	43	42	38	34	29	27	21	377

2014年に報告された全数把握対象の感染症 年齢層別内訳(男女)

		0~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80歳以上	計	
二類	結核	2	1	0	6	17	19	18	21	25	25	24	37	42	52	57	65	167	578	
三類	細菌性赤痢					1			1					1					3	
	腸管出血性大腸菌感染症	9	16	18	8	9	6	3	4	6	7	6	8	4	4	5	1	3	117	
	腸チフス									1									1	
四類	E型肝炎												1			1			2	
	A型肝炎			1					1	1	1	1	2	1					8	
	エキノкокクス症							1											1	
	デング熱			3	1	4	4	4	1	2	1								20	
	マラリア					1			1		2								4	
	レジオネラ症						1	1		1	1		9	3	10	2	6	17	51	
	レプトスピラ症			1											1				2	
五類	アメーバ赤痢						2	1	6	7	13	11	13	6	4	2	1		66	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)						2												2	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症				1											1	3	8	13	
	急性脳炎	13	4	1							2	1							21	
	クロイツフェルト・ヤコブ病											1		1		2	2	1	7	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							1	2		1			3	1		2	4	14	
	後天性免疫不全症候群				2	4	4	9	10	7	7	6	5	2	2				58	
	ジアルジア症												1						1	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1												1	1		1	4	9	
	侵襲性髄膜炎菌感染症																	1	1	
	侵襲性肺炎球菌感染症	9	1			1		5			4	4	5	5	2	9	12	22	79	
	水痘(入院例に限る)	1														1			3	
	梅毒				1	5	9	6	5	2	2	4	2	1					37	
	破傷風																	1	1	2
	風しん	1	5		2	5	1	4	5	6	5	1	2						37	
麻しん	3	1	1	1	1		3	1										11		
薬剤耐性アシネトバクター感染症																1			1	
計		39	28	25	22	47	49	51	63	60	70	59	85	71	76	81	95	228	1,149	

2014年に報告された全数把握対象の感染症 年齢層別内訳(男)

		0~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80歳以上	計
二類	結核	1	0	0	3	8	10	13	16	16	19	17	21	34	40	39	46	101	384
三類	細菌性赤痢					1			1					1					3
	腸管出血性大腸菌感染症	6	9	10	3	2	2	1	1	4	1	4		4	2	2		1	52
	腸チフス									1									1
四類	E型肝炎												1			1			2
	A型肝炎			1						1		1	1	1					5
	エキノкокクス症							1											1
	デング熱			2		3		2	1	2	1								11
	マラリア					1			1		2								4
	レジオネラ症						1	1		1	1		9	3	10	2	4	8	40
	レプトスピラ症														1				1
五類	アメーバ赤痢						2	1	4	6	11	11	13	6	4	2	1		61
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)						1												1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症															1	2	5	8
	急性脳炎	5	2	1							2	1							11
	クロイツフェルト・ヤコブ病											1		1		1	1		4
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							1			1						2	2	6
	後天性免疫不全症候群				2	4	4	9	10	6	7	6	5	2	2				57
	ジアルジア症												1						1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1												1	1			3	7
	侵襲性髄膜炎菌感染症																		0
	侵襲性肺炎球菌感染症	7	1			1		1		1	3	3	4	3		7	9	15	54
	水痘(入院例に限る)	1																	1
	梅毒				1	2	8	3	2	2	2	4	2	1					27
	破傷風																		0
	風しん		1		1	3	1	3	4	3	4		2						22
麻しん	2		1	1	1		2											7	
薬剤耐性アシネトバクター感染症																1			1
計		23	13	15	11	25	30	37	41	44	53	48	59	58	59	56	65	135	772

2014年に報告された全数把握対象の感染症 年齢層別内訳(女)

		0~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80歳以上	計		
二類	結核	1	1	0	3	9	9	5	5	9	6	7	16	8	12	18	19	66	194		
三類	細菌性赤痢																		0		
	腸管出血性大腸菌感染症	3	7	8	5	7	4	2	3	2	6	2	8		2	3	1	2	65		
	腸チフス																		0		
四類	E型肝炎																		0		
	A型肝炎								1		1		1						3		
	エキノコックス症																		0		
	デング熱			1	1	1	4	2											9		
	マラリア																		0		
	レジオネラ症																2	9	11		
	レプトスピラ症			1															1		
五類	アメーバ赤痢								2	1	2								5		
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)						1												1		
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症				1												1	3	5		
	急性脳炎	8	2																10		
	クロイツフェルト・ヤコブ病																1	1	1		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症								2					3	1			2	8		
	後天性免疫不全症候群									1									1		
	ジアルジア症																		0		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症																	1	1	2	
	侵襲性髄膜炎菌感染症																	1		1	
	侵襲性肺炎球菌感染症	2							4		1	1	1	2	2	2	3	7	25		
	水痘(入院例に限る)																1		1	2	
	梅毒						3	1	3	3										10	
	破傷風																		1	1	2
	風しん	1	4		1	2			1	1	3	1	1							15	
麻しん	1	1						1	1										4		
薬剤耐性アシネトバクター感染症																			0		
	計	16	15	10	11	22	19	14	22	16	17	11	26	13	17	25	30	93	377		